

4. 利用者及び住民アンケート調査

- 4-1. 芝川バス利用者アンケート調査の概要
- 4-2. 芝川バス利用者アンケート調査の結果
- 4-3. 路線バス利用者アンケート調査の概要
- 4-4. 路線バス利用者アンケート調査の結果
- 4-5. 住民アンケート調査の概要
- 4-6. 住民アンケート調査の結果

4-1. 芝川バス利用者アンケート調査の概要

1) 調査の目的

本調査は、芝川バスの利用状況を把握し、富士宮市芝川地域公共交通総合連携計画策定のための基礎資料とすることを目的に実施した。

2) 調査の方法

①調査対象

6月28日（月）～7月3日（土）の6日間に芝川バスを利用された方。

②調査期間

平成22年6月28日（月）～平成22年7月3日（土）

③調査方法と回収状況

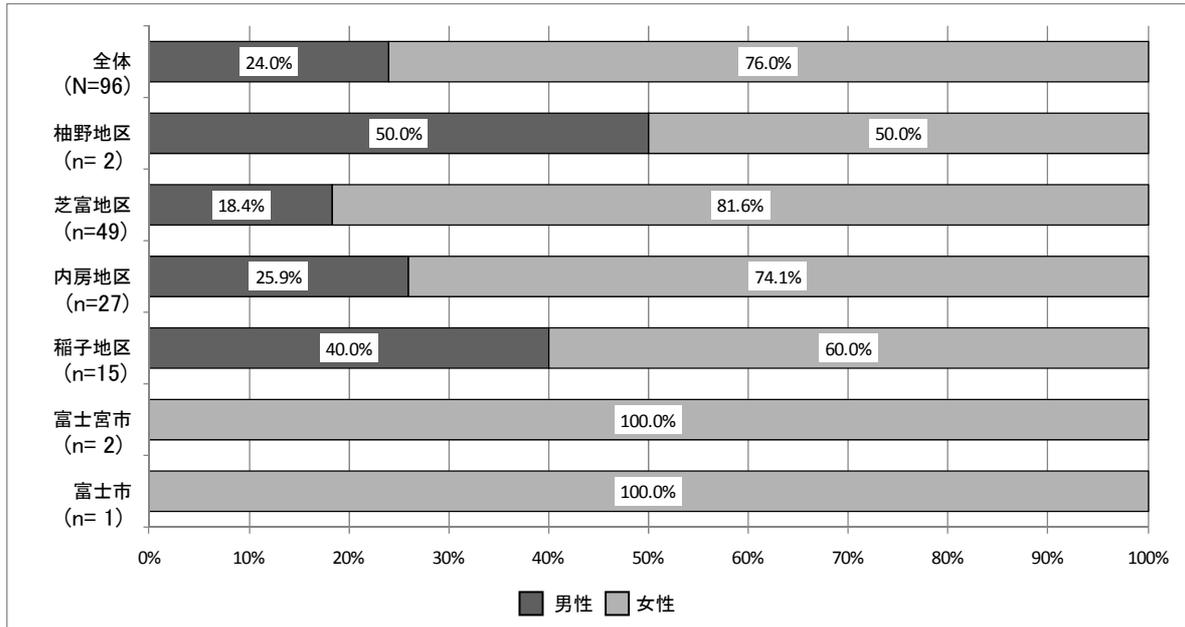
事業者の協力により、利用者に対する聞き取り調査を行った。

回答数：96件

※ 尚、以降に掲載しているグラフの割合の合計については、四捨五入の関係から、必ずしも100%にはならない。

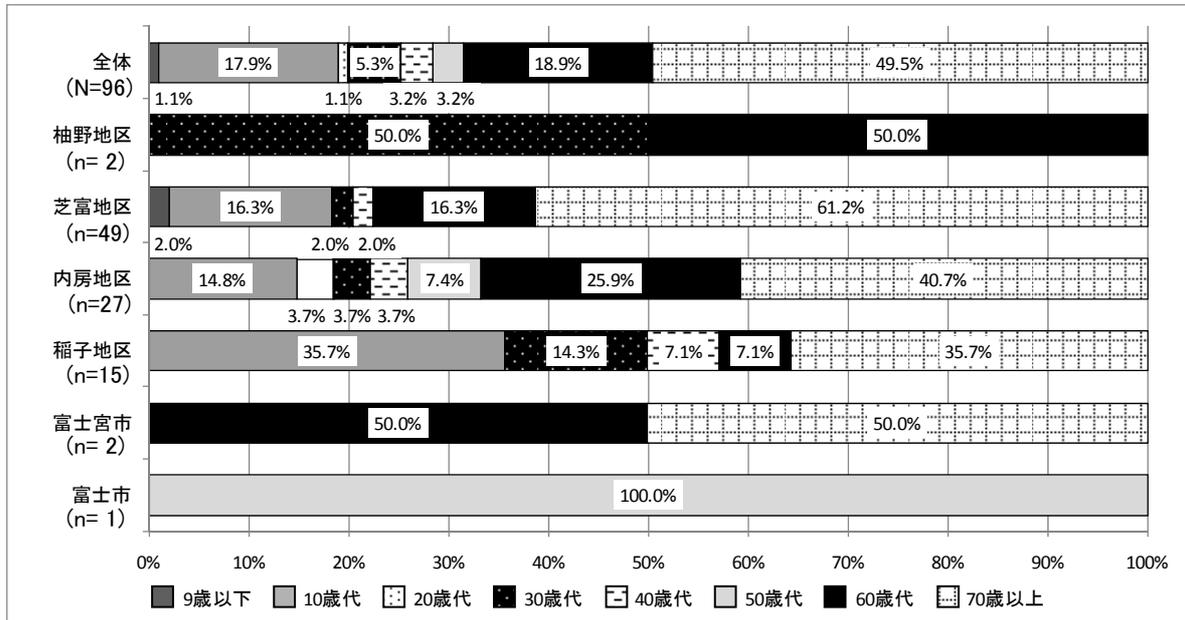
4-2. 芝川バス利用者アンケート調査の結果

問1 あなたの性別をお答えください。



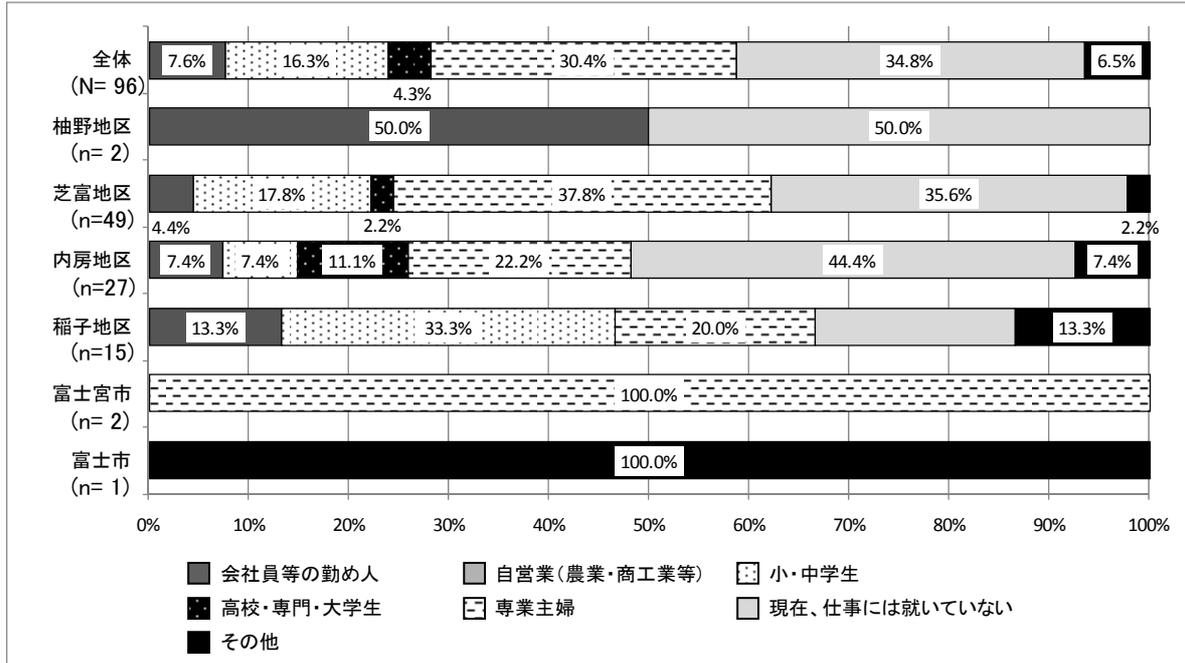
女性の回答者が圧倒的に多かった。

問2 あなたの年齢をお答えください。



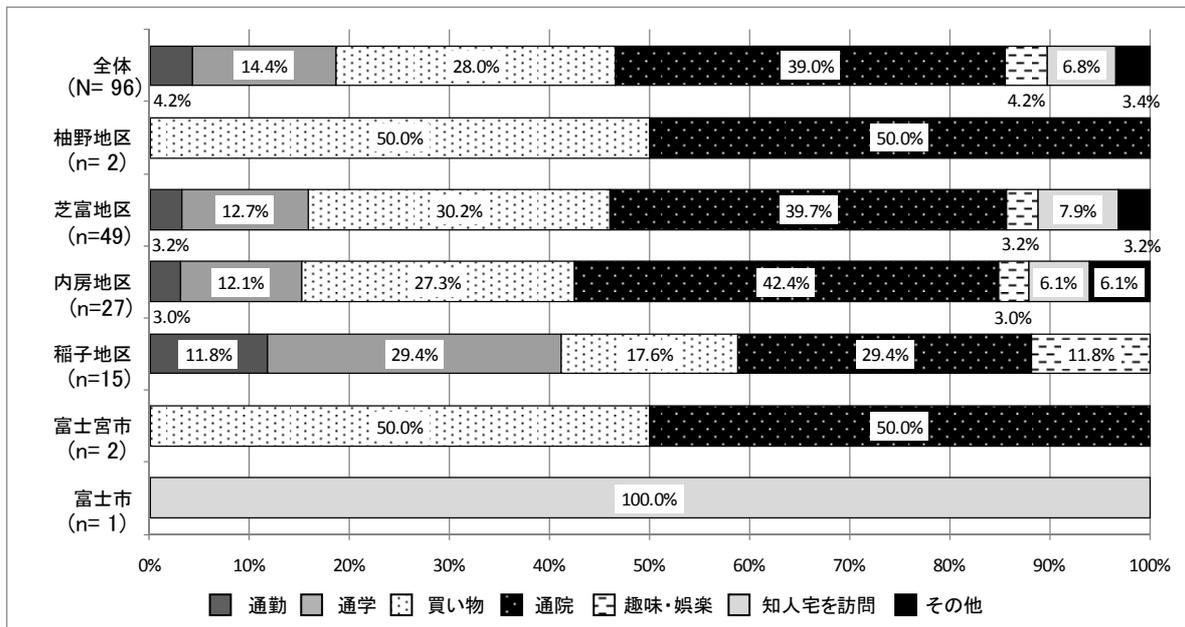
70歳以上が約半数を占め、60歳以上の利用者が占める割合は70%近くになる。一方、10代以下の利用者は20%弱となっている。

問3 あなたの職業をお答えください。



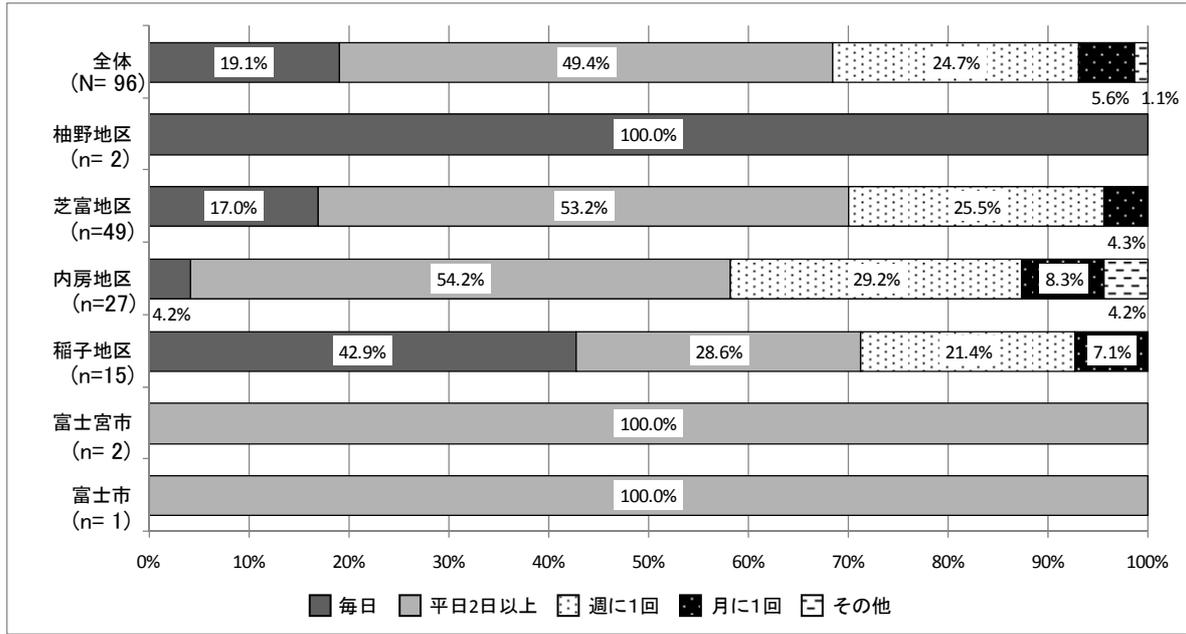
「専業主婦」「現在、仕事についていない」を合計した、就業していない利用者の割合が約65%、続いて学生の利用が約20%、「社員等勤め人」が約8%であった。

問4 今日バスを利用した目的をお答えください。



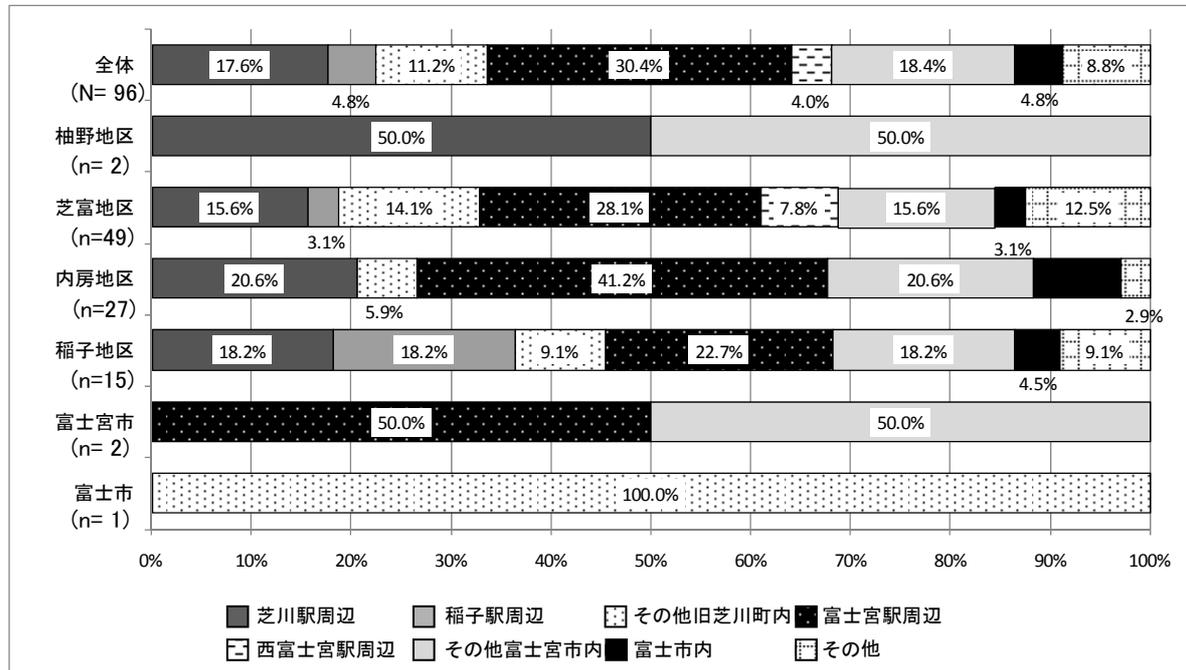
「通勤」、「通学」と答えた人は全体の約20%であった。「通勤」、「通学」の利用者は稲子・内房・芝富地区の住民で、柚野住民の回答はなかった。

問5 バスをどれくらい利用していますか。



毎日と答えた人が約 20%。それ以外が約 80%を占めている。

問6 目的地はどこですか。

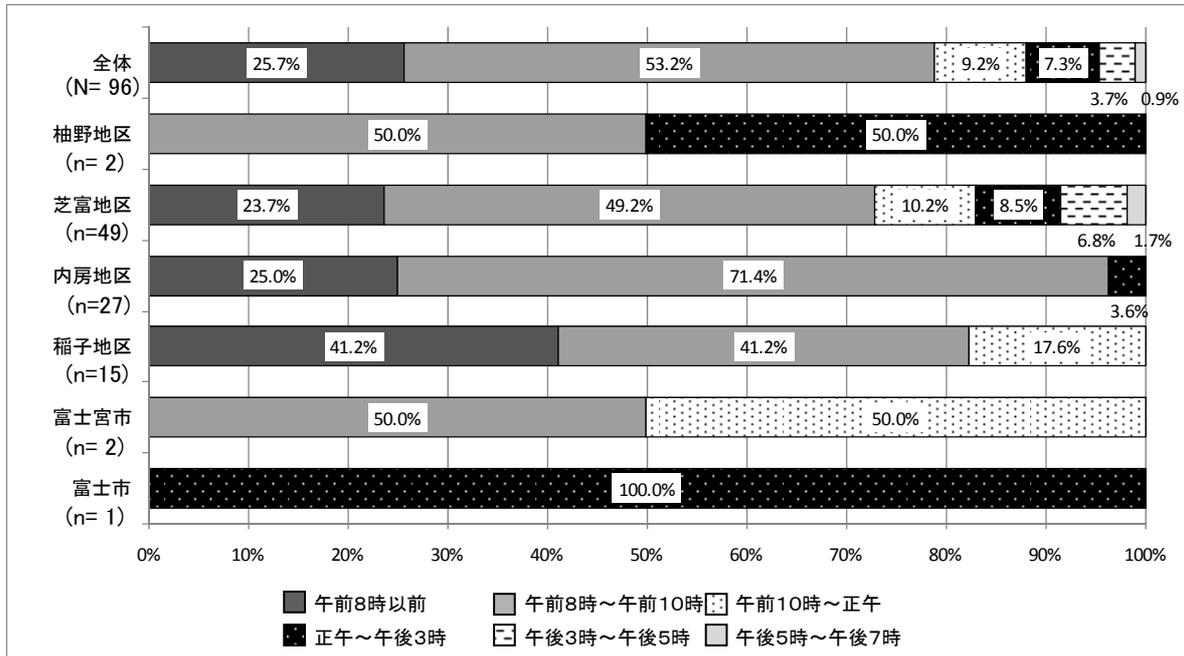


JR の駅周辺に目的がある（電車での移動も目的とした為「富士市内」も含めた）と答えた人が、約 62%、「その他富士宮市内」への移動が約 18%と、旧芝川町内への移動と答えた人が約 11%いた。

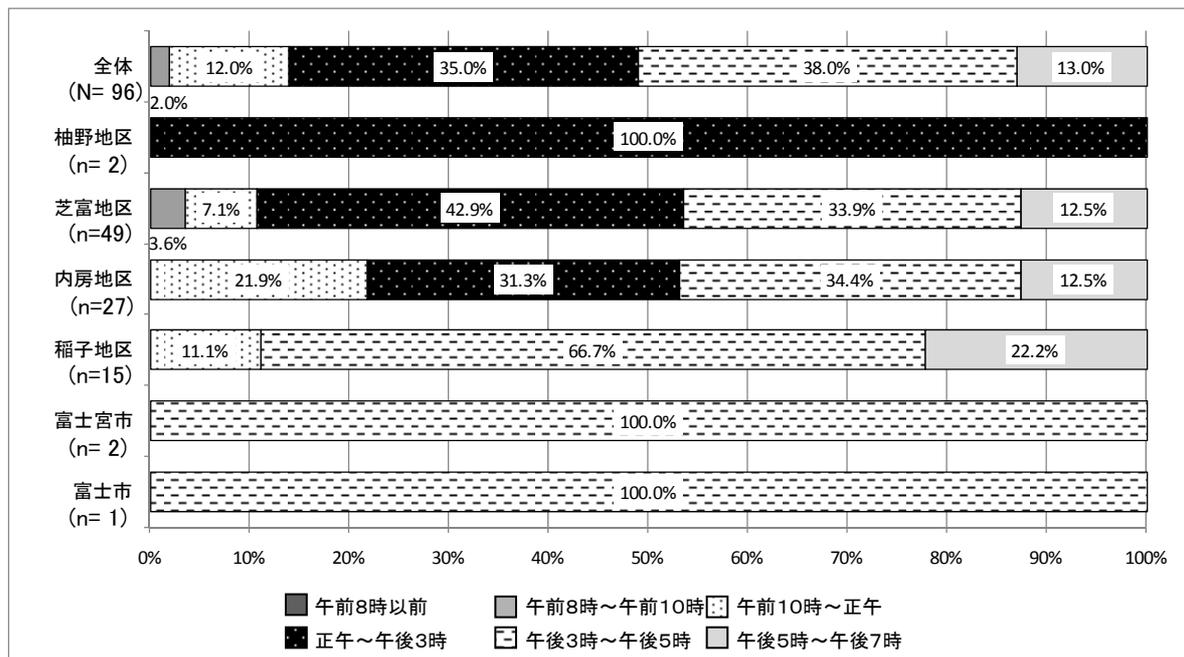
内房地区・稲子地区には芝川中学校に通っている学生がそれぞれ 1 人ずつ、芝富地区には芝富小学校へ通う学生が 6 人回答していた。

問7 どの時間帯に乗っていますか。

【行き】



【帰り】



行きは、午前中と答えた人が約80%で、その中でも特に「午前8時～午前10時」の時間帯が半数以上を占めた。「8時以前」も約26%と需要があり、通勤・通学利用と思われる。

帰りは逆で、正午以降と答えた人が約90%を占めた。5時以降の需要が13%にとどまったのは、学生と就業者で帰宅時間がずれるためと思われる。

また、別の路線の乗り込み調査から推測するに、買い物や通院で出かける人が昼過ぎから午後3時前後の時間帯に帰宅していると考えられる。

4-3. 路線バス利用者アンケート調査の概要

1) 調査の目的

本調査は、路線バスの利用状況を把握し、富士宮市芝川地域公共交通総合連携計画策定のための基礎資料とすることを目的に実施した。

2) 調査の方法

①調査対象

平成22年6月23日（水）、6月26日（土）、6月29日（金）の3日間に富士急静岡バス（株）柚野線を利用された方。

②調査期間

平成22年6月23日（水）、6月26日（土）、6月29日（金）

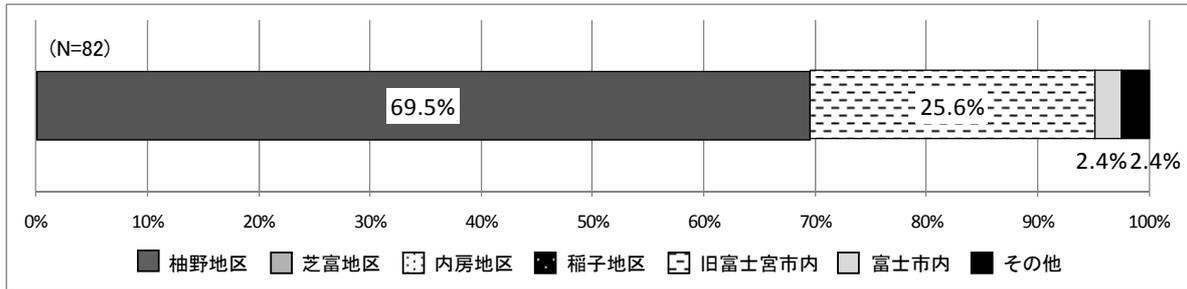
③調査方法と回収状況

調査員がバスに乗車し、利用者に対して聞き取り調査を行った。

回答数：82件

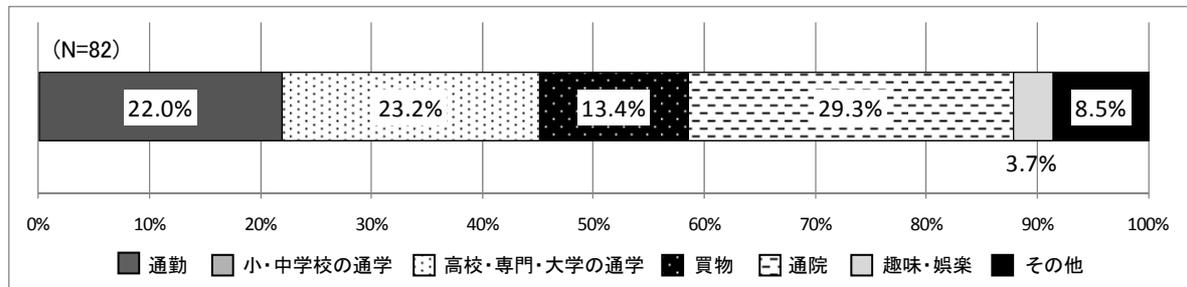
4-4. 路線バス利用者アンケート調査の結果

問1 あなたの居住地をお答えください。



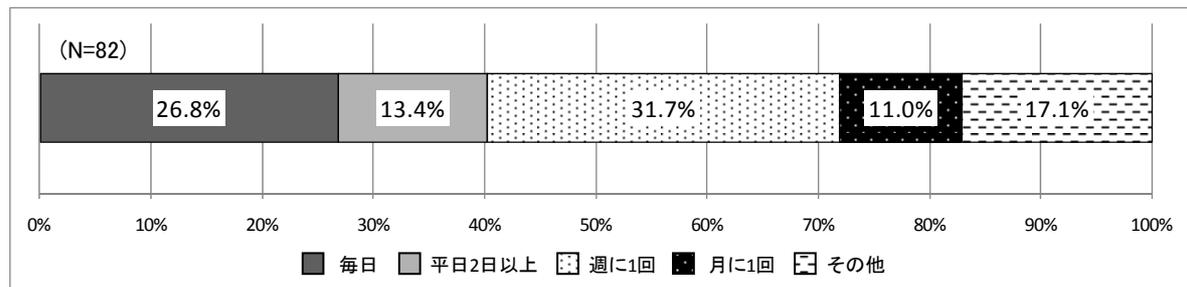
利用者の居住地は柚野地区が約70%を占める。次いで、旧富士宮市域の住民が多い。

問2 外出の目的をお答えください。



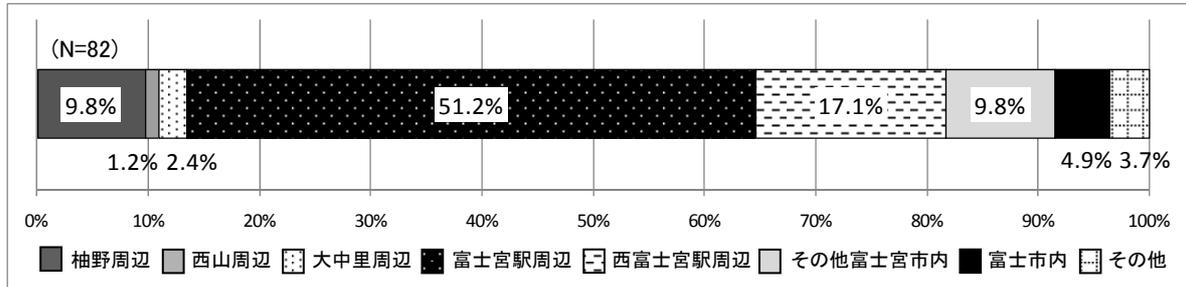
「通院」が最も多く、次いで、通勤及び高校生・専門学校生・大学生の通学が多い。通勤、通学を合せると、全体の45%程度になる。

問3 バスはどれくらい利用しますか。



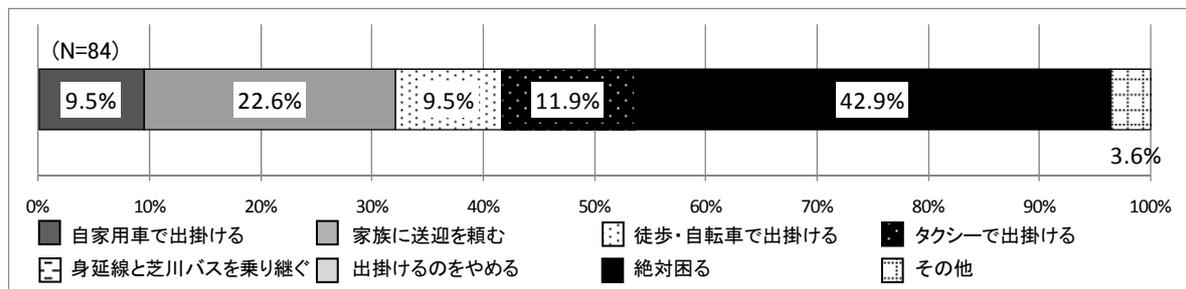
毎日が27%程度で最も多く、週に1回以上利用している利用者が70%以上を占める。

問4 目的地はどこですか。



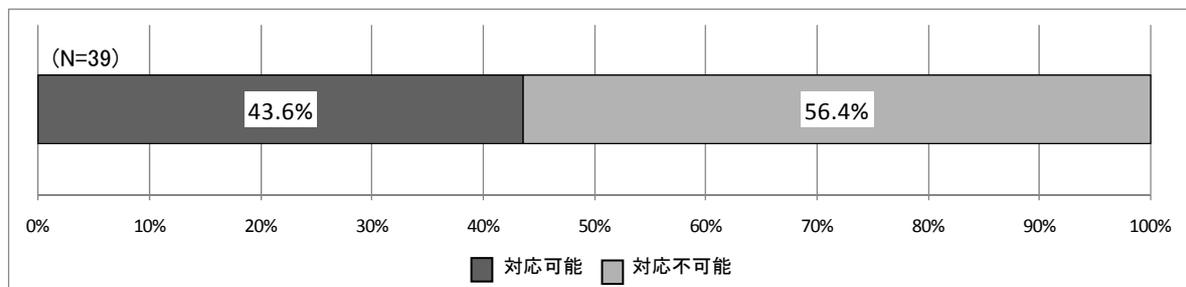
目的地は富士宮駅周辺が半数以上で柚野方面及び西山、大中里に向かう利用者は全体の13%程度と少ない。

問5 このバス路線がなくなったらどうしますか。



約半数が代替する交通手段を持っている。絶対に困るのは全体の43%。

問6 問5で「絶対困る」と答えた方にお聞きします。1往復するとしたら富士宮発7:10、上柚野発18:30、上柚野発6:50、富士宮発18:55で対応可能ですか。



全体の約44%は始発と最終便が残れば対応が可能との回答であった。

4-5. 住民アンケート調査の概要

1) 調査の目的

本調査は、芝川地域における地域住民の普段の移動手段や、芝川バスの利用実態及び地域公共交通に対するニーズを把握し、富士宮市芝川地域公共交通総合連携計画策定のための基礎資料とすることを目的に実施した。

2) 調査の方法

①調査対象

芝川地域に住む小学生以上（平成 22 年 4 月現在）を対象に、1,000 人を住民基本台帳より無作為抽出した。

②調査期間

平成 22 年 6 月 21 日（月）～平成 22 年 6 月 30 日（水）

③調査方法と回収状況

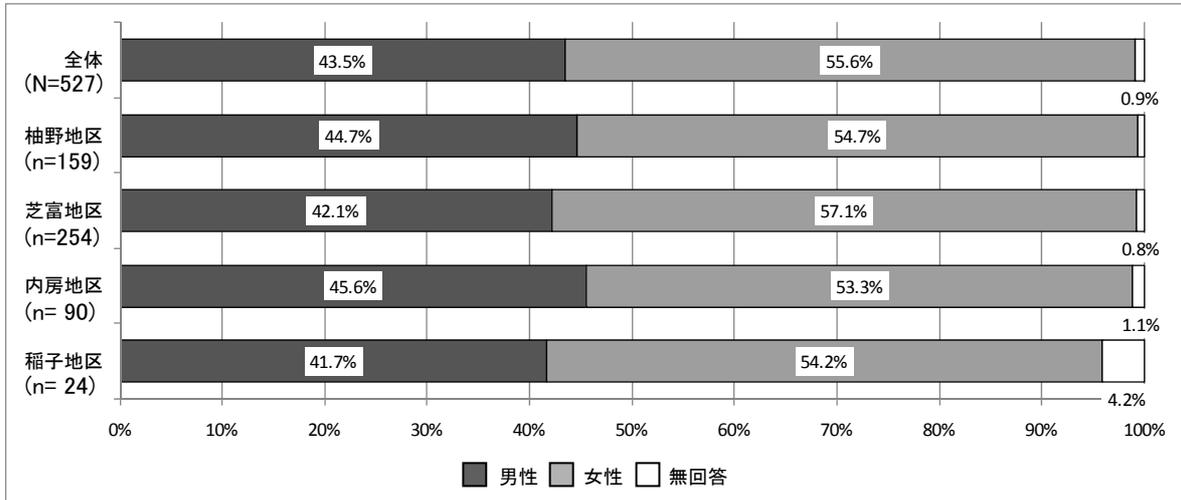
郵送により配布・回収を行い、回収結果は以下のとおりである。

	回収数	回収率（配布数）
柚野地区	159 件	52.5%（ 303 件）
芝富地区	254 件	51.1%（ 497 件）
内房地区	90 件	57.6%（ 156 件）
稲子地区	24 件	54.5%（ 44 件）
全体	527 件	52.7%（1,000 件）

4-6. 住民アンケート調査の結果

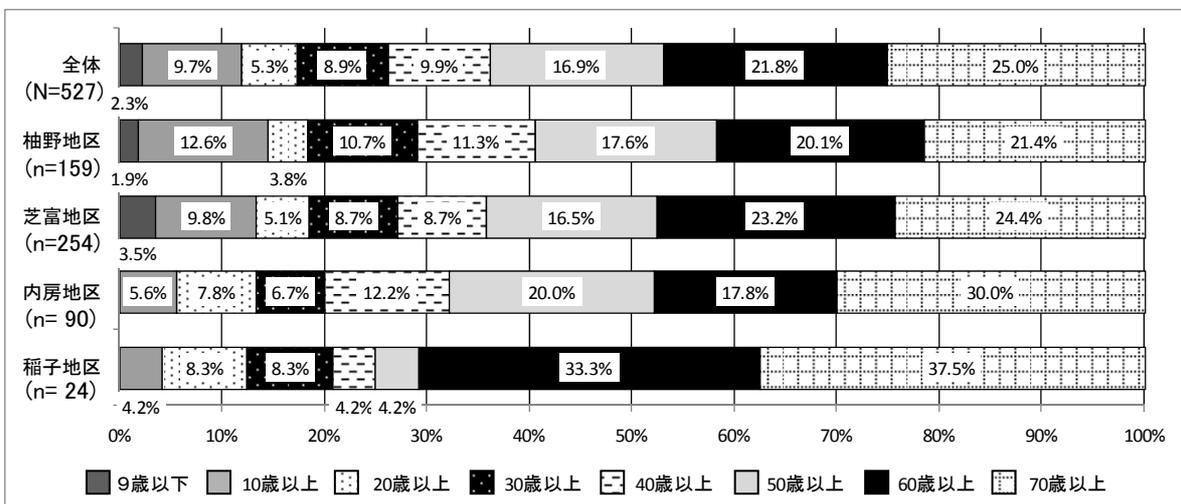
A 回答者の属性

1. 性別



アンケートの配布対象者は男性の方が多かったが、回答者は全体、地区別ともに女性が多くなっており、女性の方が公共交通に関する関心が高いものと考えられる。

2. 年齢

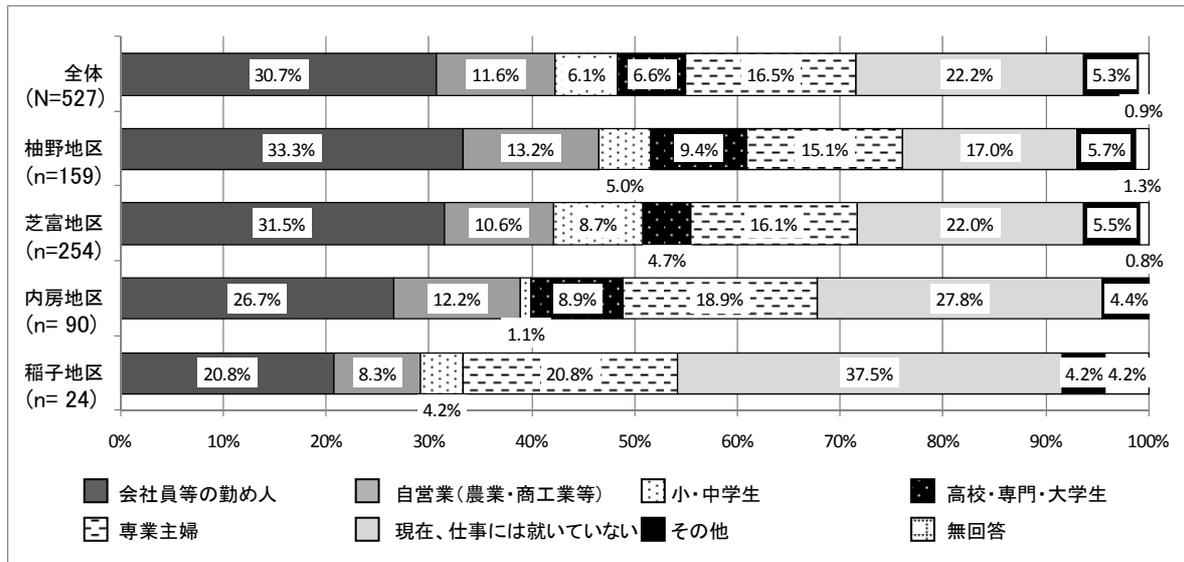


全体では、70歳以上が最も多く、60歳以上を含めた高齢者が全体の約半数を占めている。

地区別では、柚野地区、芝富地区で若い世代の割合が比較的多くなっているが、内房地区、稲子地区では60歳以上の高齢者の割合が半数以上となっている。

地区別の高齢化率は、稲子地区が最も高く、次いで内房地区、芝富地区、柚野地区の順となっており、アンケートの結果でも同様の傾向が見られる。

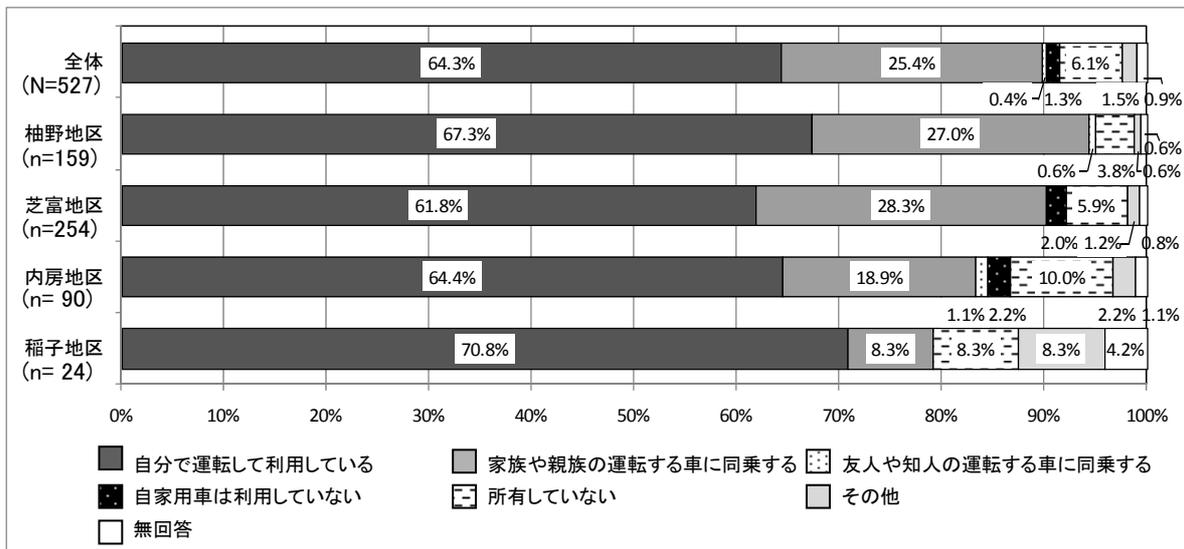
3. 職業



その他の主な意見 ※()内は件数
 ・パート・アルバイト (19)

全体では、「会社員等の勤め人」が最も多く、次いで「現在、仕事には就いていない」、「専業主婦」の順となっている。
 地区別では、高齢者の割合が高かった内房地区と稲子地区で「現在、仕事には就いていない」が「会社員等の勤め人」の割合を上回っている。また、袖野地区と芝富地区で学生（「小学生」と「高校・専門・大学生」の合計）が10%を超えている。

4. 自家用車の利用状況

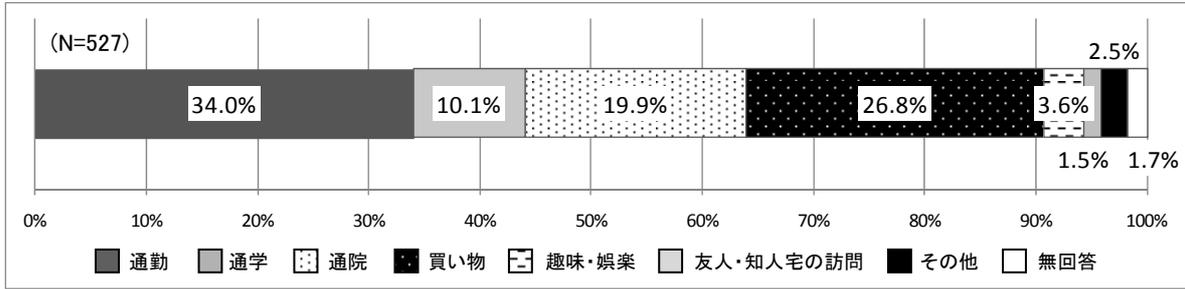


その他の主な意見 ※()内は件数
 ・バイク (4)

「自分で運転して利用している」が最も多く、次いで「家族や親族の運転する車に同乗する」が多くなっており、全体の約90%が自家用車を利用している。
 地区別では、袖野地区での自家用車を利用している割合が最も多い。また、内房地区では「利用していない」の割合が比較的多くなっている。

B 日常の移動について

1. 外出する目的

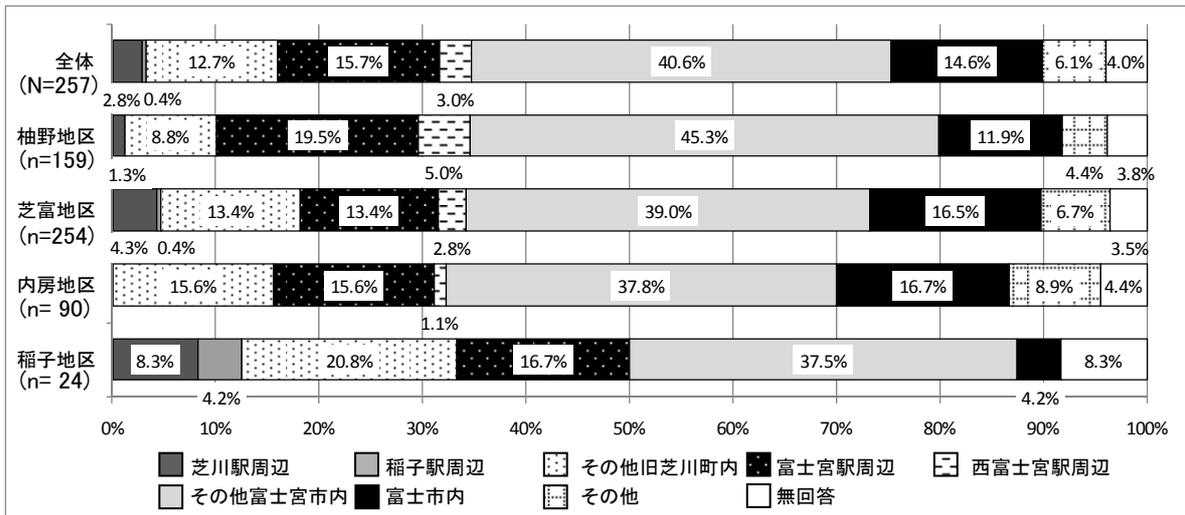


その他の主な意見 ※()内は件数

- ・仕事目的（仕入れなど）(6)
- ・家族の送迎 (5)

移動の目的は、会社員等の勤め人が多いため、「通勤」が最も多く、次いで「買い物」、「通院」の順となっている。

2. 外出する目的地



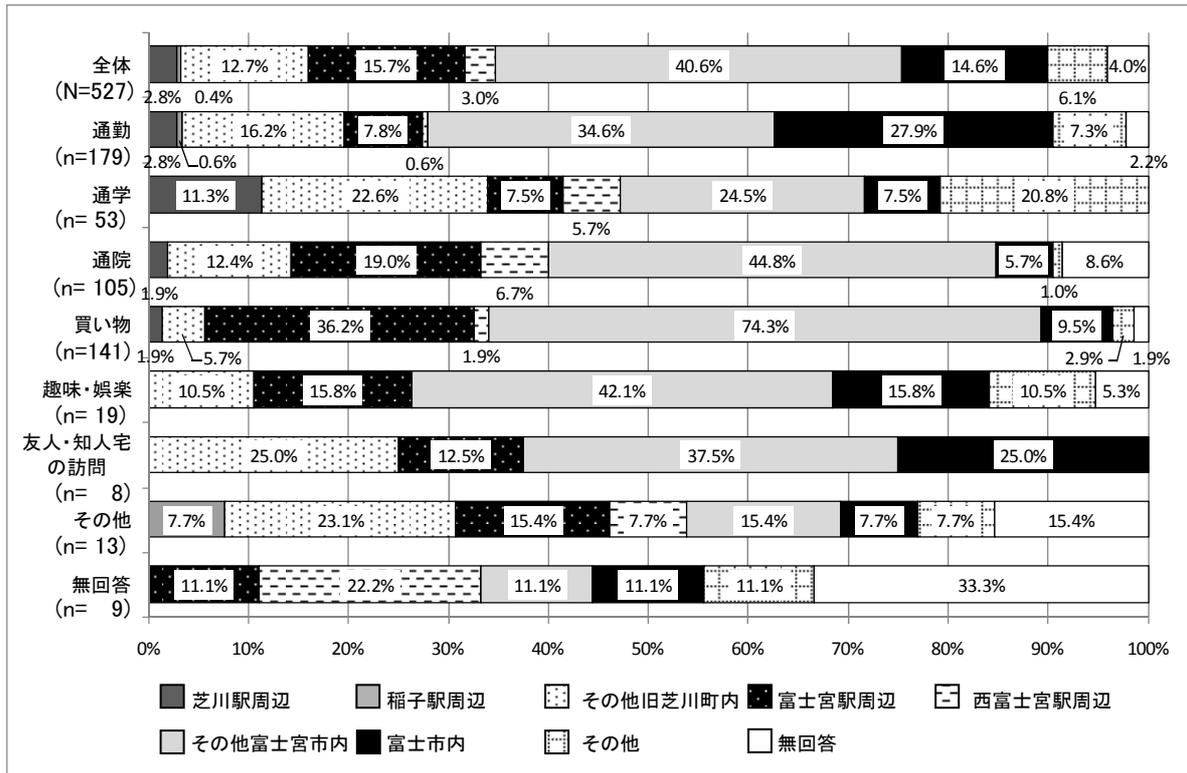
その他の主な意見 ※()内は件数

- ・静岡市 (10)
- ・静岡市以外の県内 (6)
- ・山梨県 (3)

「その他富士宮市内」が最も多く、全体の40%以上を占めており、「その他旧芝川町内」や「富士宮駅周辺」、「富士市内」も比較的多く、全体としては、旧芝川町内よりも富士宮市内を目的地とした移動が多くなっている。

地区別でも概ね同様の傾向にあるが、稲子地区に限っては、他地区に比べ旧芝川町を目的地とした移動が多く、一方、富士市内を目的地とした移動が少なくなっている。

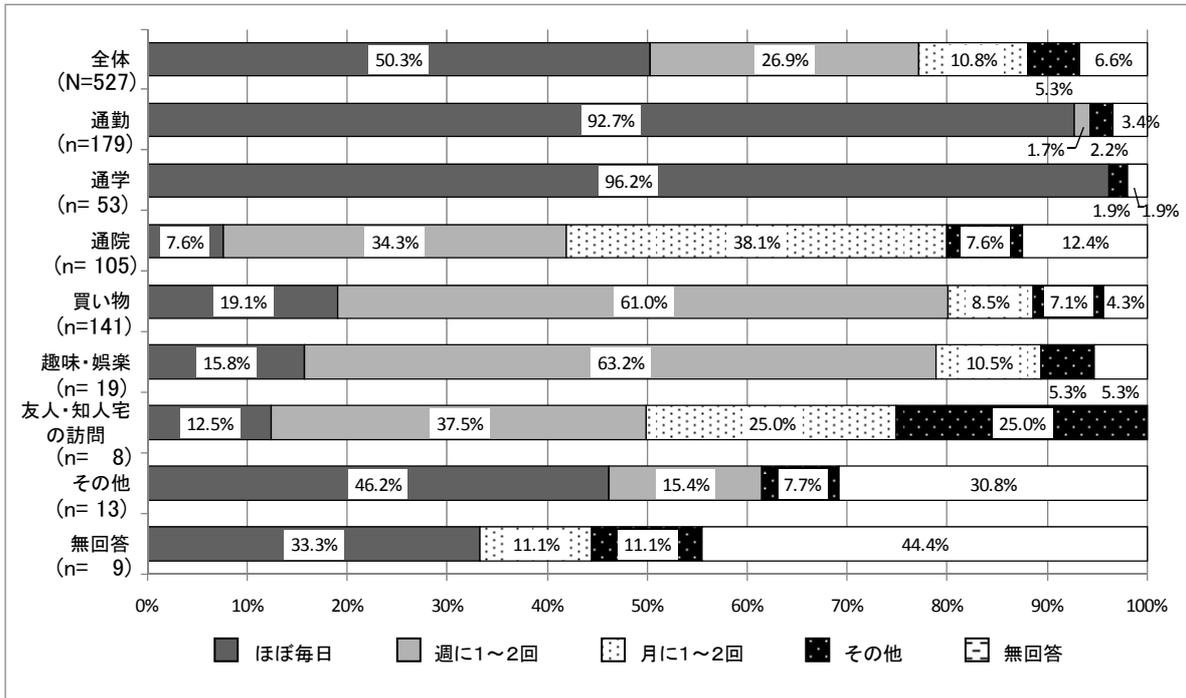
(目的別の目的地)



「通院」や「買い物」といった日常生活に関する目的で、特に富士宮市内を目的地としている傾向が強い。また、「通勤」については、富士市内を目的地とした移動が多く、「通学」については他の目的に比べ、旧芝川町内を目的地とした移動が多い。

3. 外出する頻度

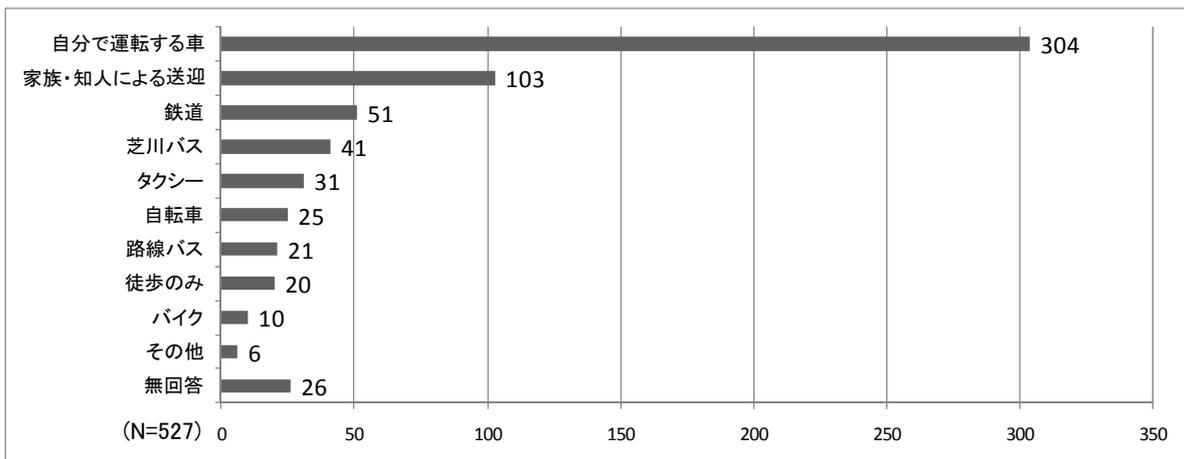
(目的別の外出頻度)



移動の目的では「通勤」が最も多かったこともあり、全体の半数が「ほぼ毎日」となっている。

目的別では、通勤、通学のほとんどが「ほぼ毎日」となっており、買い物や趣味・娯楽は「週に1~2回」が約60%となっている。また、通院については、「週に1~2回」と「月1~2回」が同程度の割合となっている。

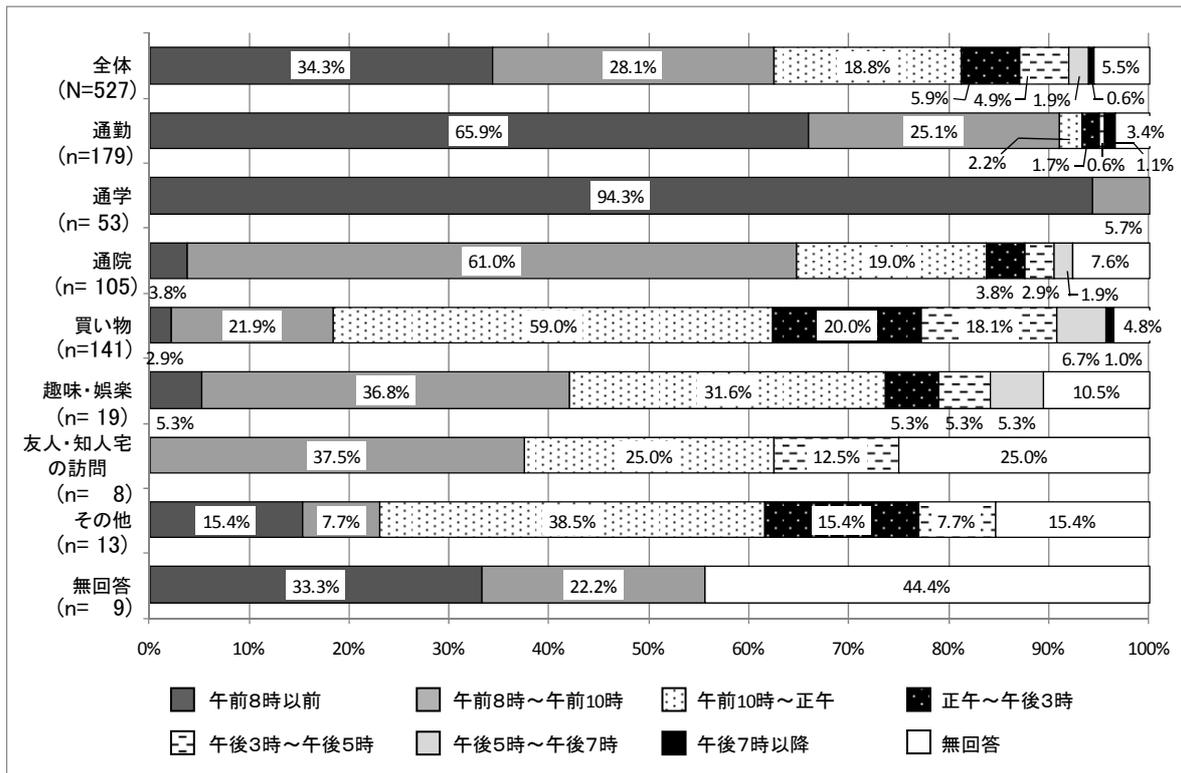
4. 外出する際の移動手段



その他の主な意見 ※()内は件数
 ・学校や会社の送迎バス (3)

目的地に行くための移動手段は、自家用車の利用状況と同様の傾向にあり、「自分で運転する車」が最も多く、次いで「家族・知人による送迎」が多くなっている。

5. 移動する時間帯（行き）

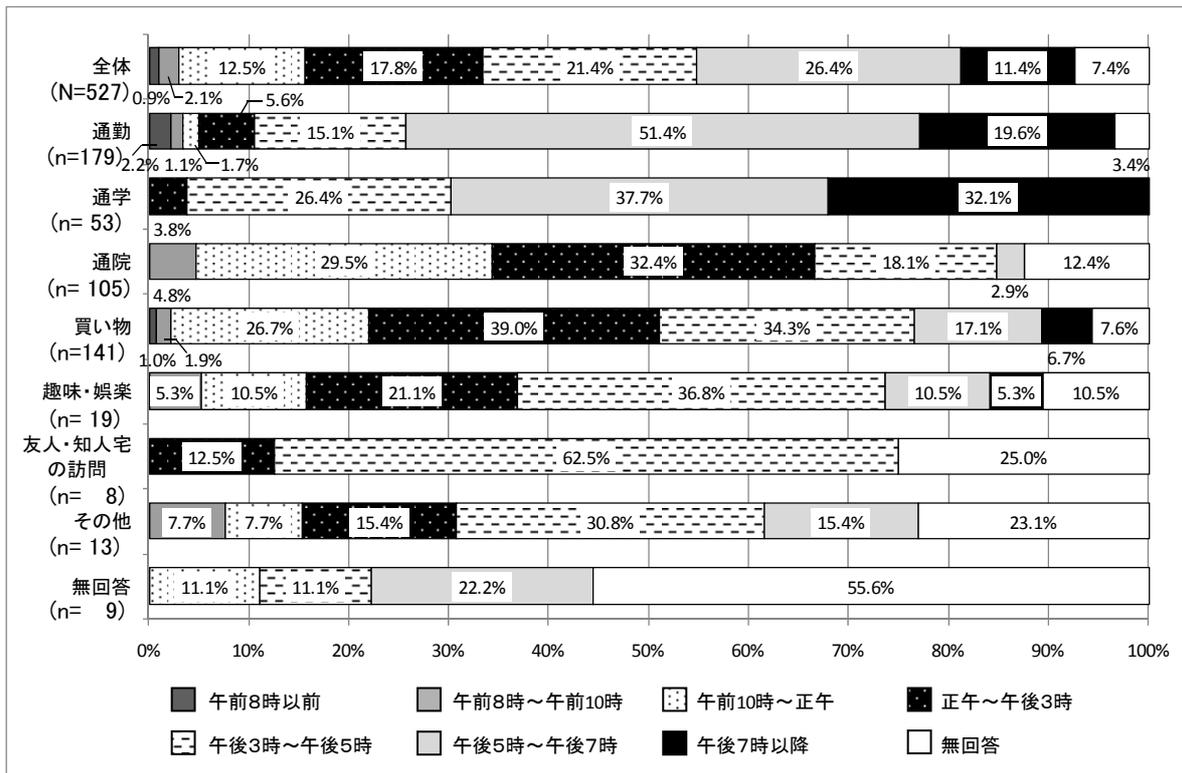


目的地へ移動する時間帯は、午前10時までが全体の約60%、午前中（正午まで）では全体の80%以上を占めている。

「通勤」や「通学」は午前8時以前が多く、特に「通学」は90%以上が「午前8時以前」となっている。

また、「通院」については「午前8時～午後10時」が多く、「買い物」については「午前10時～正午」や「正午～午後3時」といった時間帯の移動が多く、病院の受付時間や店舗の开店時間等に因るものと考えられる。

6. 移動する時間帯（帰り）

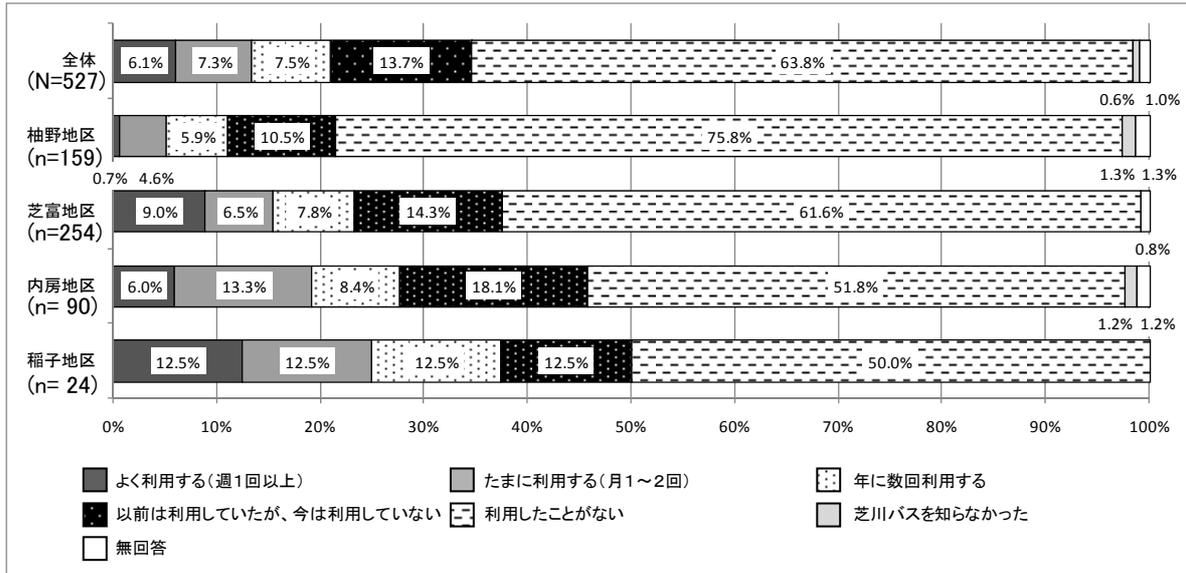


目的地から移動する時間帯は、全体では通勤目的の移動が最も多いことから、「午後5時～午後7時」が最も多く、次いで「午後3時～午後5時」の順となっており、全体の約80%を午後の時間帯が占めている。

「通院」や「買い物」については、日中から夕方にかけての時間帯が多くなっている。

C 芝川バスの利用状況

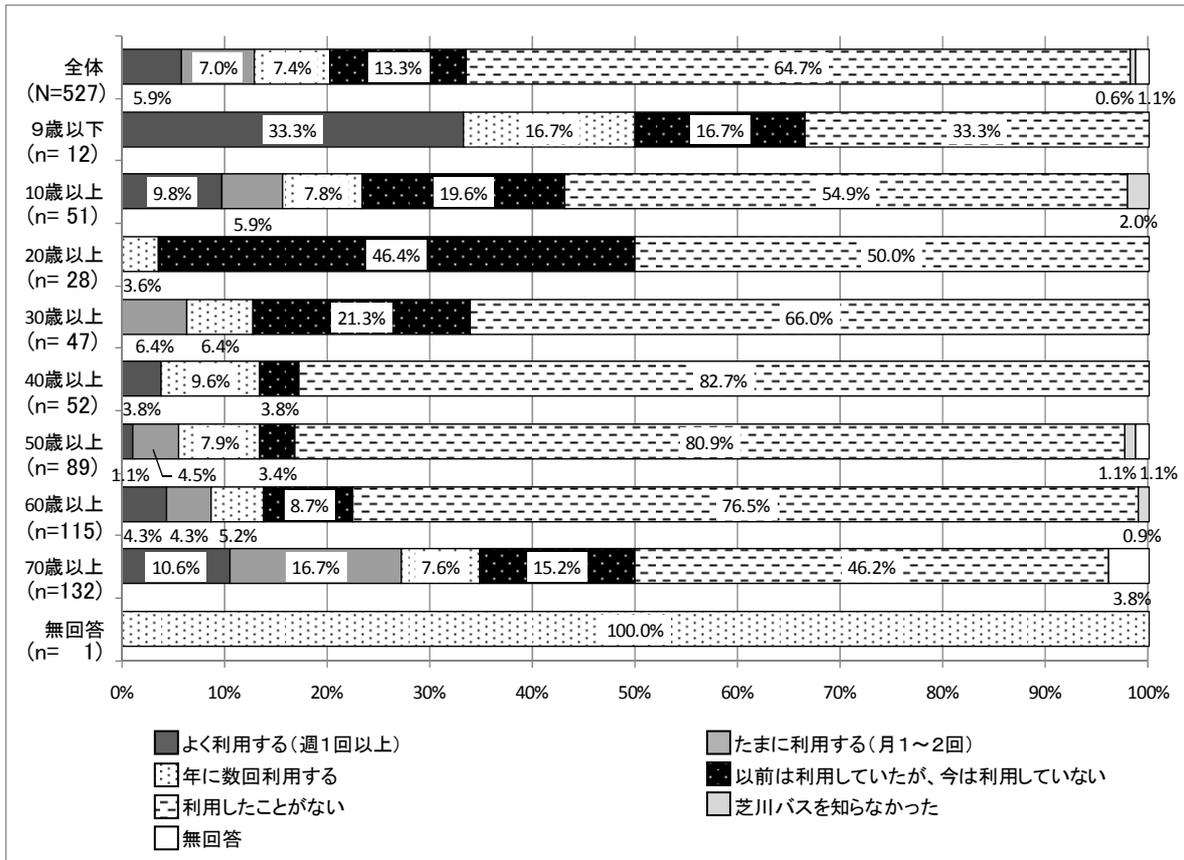
1. 地域住民の芝川バスの利用状況



日常の移動では、自家用車を利用した移動が多くなっているため、「利用したことがない」が最も多く、次いで「以前は利用していたが、今は利用していない」が多くなっている。一方、「よく利用する(週1回以上)」は10%に満たない。

地区別でも同様の傾向にあるが、高齢化率の高い、内房地区や稲子地区では「よく利用する(週1回以上)」や「たまに利用する(月1~2回)」の割合も比較的多くなっている。

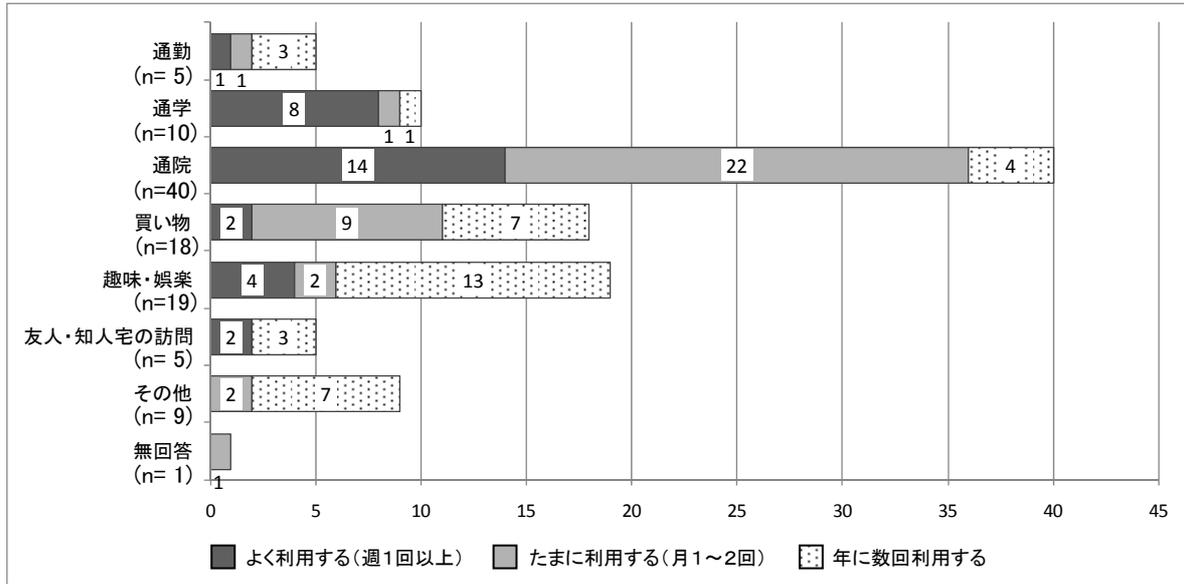
(年齢別の芝川バスの利用状況)



年齢別では、小中学生を中心とした、10歳代までの若い世代や70歳以上の高齢者において、他の年代よりも「よく利用する(週1回以上)」や「たまに利用する(月1~2回)」の割合が多くなっている。一方、40歳以上~60歳以上の各年代では、「利用したことがない」が約80%となっている。また、20歳以上、30歳以上については「以前は利用していたが、今は利用していない」が比較的多くなっている。

2. 芝川バスの利用目的

(利用目的別の利用頻度)



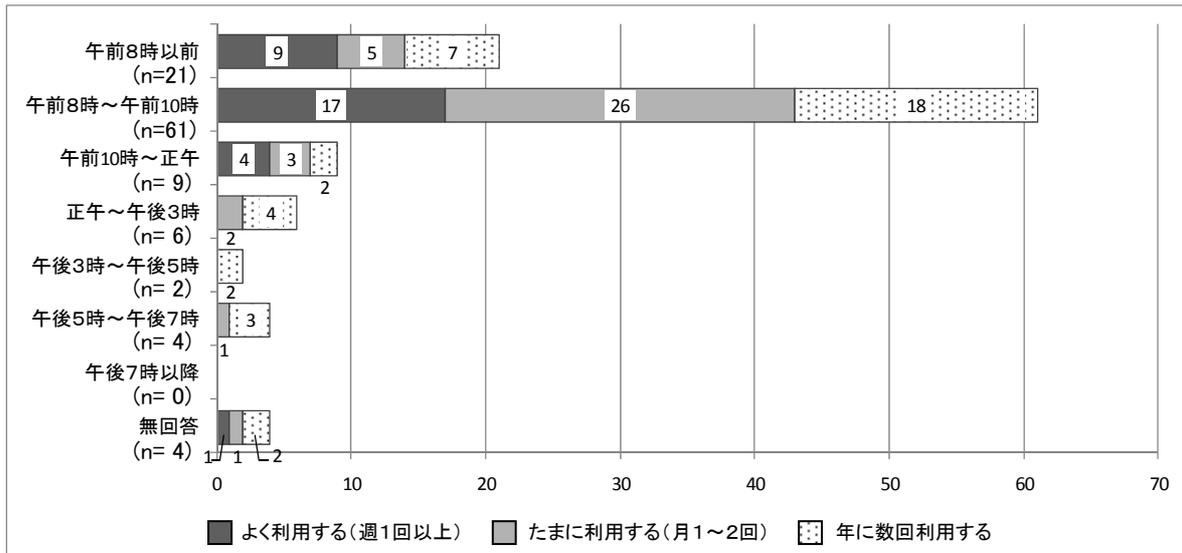
その他の主な意見 ※()内は件数

- ・会合等の行事への参加 (3)
- ・役場へ行く (2)

芝川バスの利用目的は、「よく利用する(週1回以上)」に限ると「通院」が最も多く、次いで「通学」、「趣味・娯楽」の順となっている。また、「たまに利用する(月1~2回)」を含めると、「通院」、「買い物」、「通学」の順となり、「買い物」での利用が多くなる。

3. 芝川バスを利用する時間帯(行き)

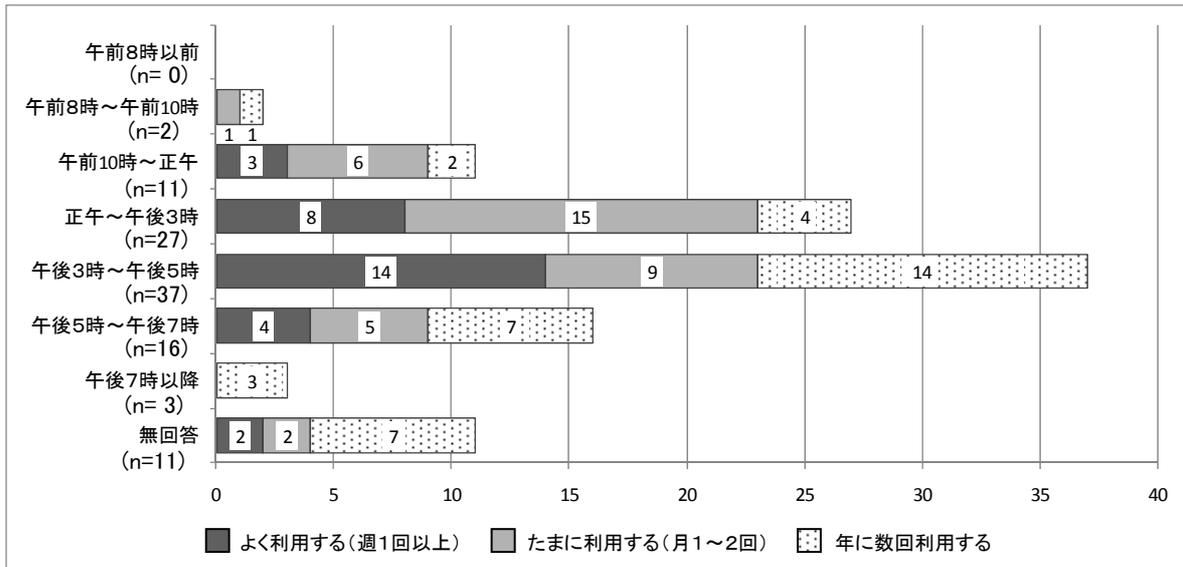
(時間帯別の利用頻度(行き))



芝川バスを行きで利用する時間帯は「午前8時~午前10時」が最も多く、ほとんどが午前中となっている。特に、「よく利用する(週1~2回)」は全て午前中となっている。

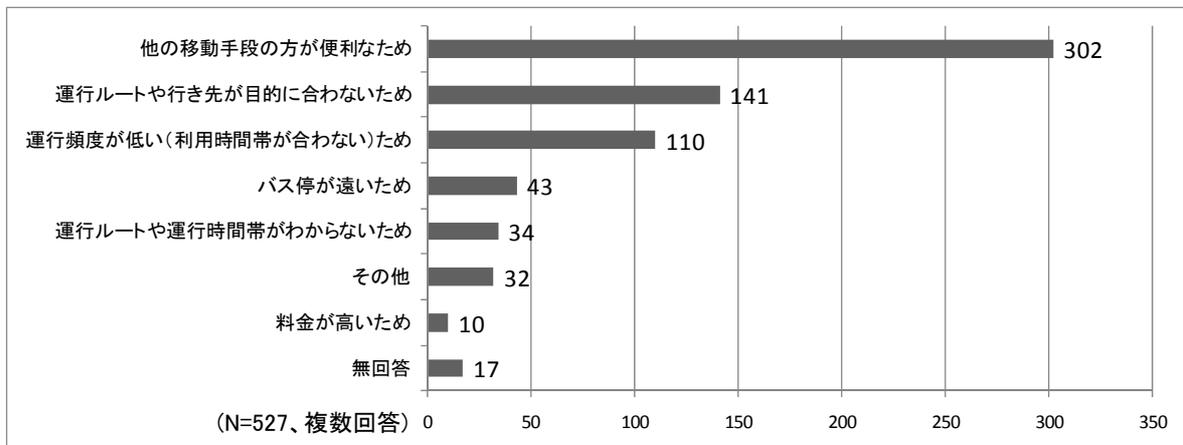
4. 芝川バスを利用する時間帯（帰り）

（時間帯別の利用頻度（帰り））



芝川バスを帰りに利用する時間帯は「正午～午後3時」や「午後3時～午後5時」が多くなっており、利用の頻度に関わらず、概ね同様の傾向にある。

5. 芝川バスを利用したことがない、または、利用しなくなった理由



その他の主な意見 ※()内は件数
 ・必要性を感じない (13) ・高齢のため (5)

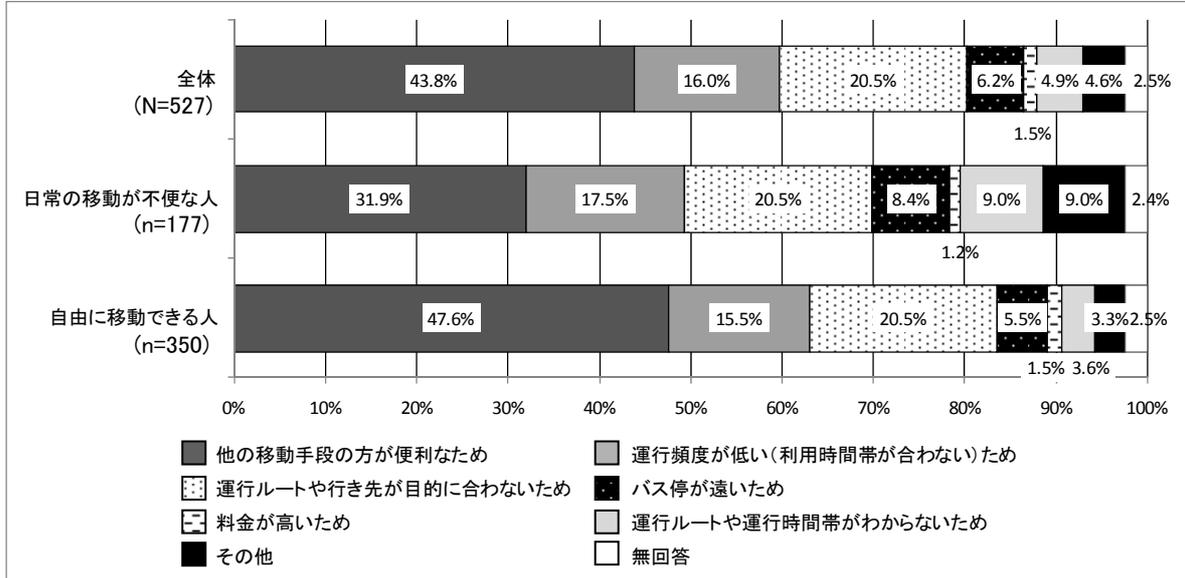
芝川バスを利用しない理由としては、「他の移動手段の方が便利のため」が最も多く、自家用車の利用が多いことに加え、20歳以上や30歳以上で「以前は利用していたが、今は利用していない」の割合が多いことから、小中学生の頃は利用していたが、その後自家用車を運転するようになったことも要因として考えられる。

また、「他の移動手段の方が便利のため」に次いで、「運行ルートや行き先が目的に合わないため」が多く、日常の目的地が旧芝川町でなく、富士宮市内にあることに起因していると考えられる。

上記以外では、「運行頻度が低い(利用時間帯が合わない)ため」や「バス停が遠いため」が比較的多く、一方で、「料金が高いため」はほとんど見られない。

（日常の移動の自由度別の芝川バスを利用しない理由）

P. 4-14 の外出する際の移動手段の問で、「路線バス」「芝川バス」「タクシー」「鉄道」「家族・知人による送迎」を選択した方は、日常の移動において、自由に移動できる手段を持っていないものにとらえ、以降の集計において日常の移動が不便な人（交通弱者）として扱う。

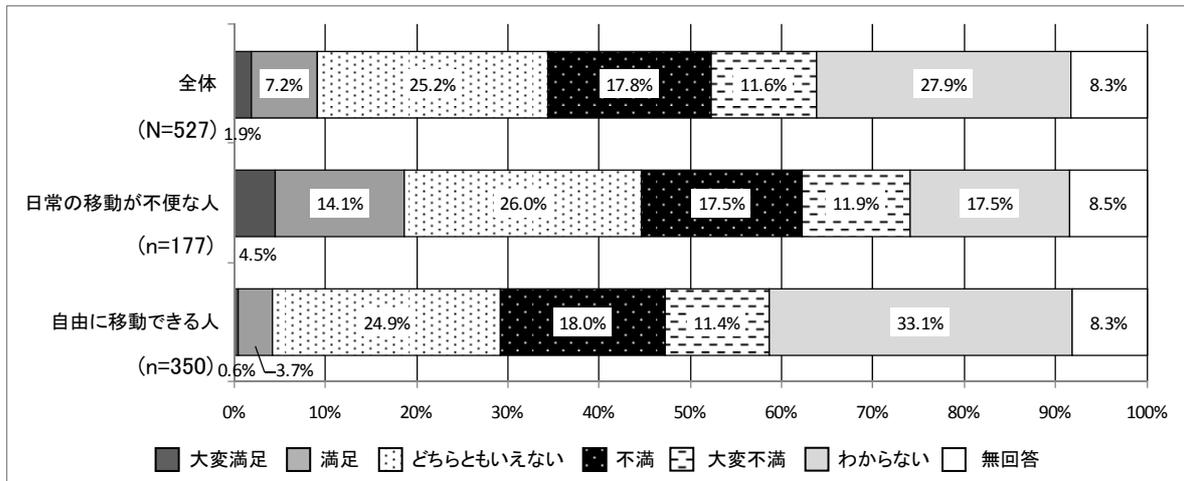


交通弱者については、全体に比べ「他の移動手段の方が便利のため」の割合が低く、一方、「運行頻度が低い（利用時間帯が合わない）ため」や「バス停が遠いため」、「運行ルートや運行時間帯がわからないため」の割合が多くなっている。

また、「他の移動手段の方が便利のため」に次いで「運行ルートや行き先が目的に合わないため」が多くなっており、他の移動手段を持たない人にとっては、これが芝川バスを利用しない大きな要因であると考えられる。

D 芝川バスを含めた今後の芝川地域の公共交通について

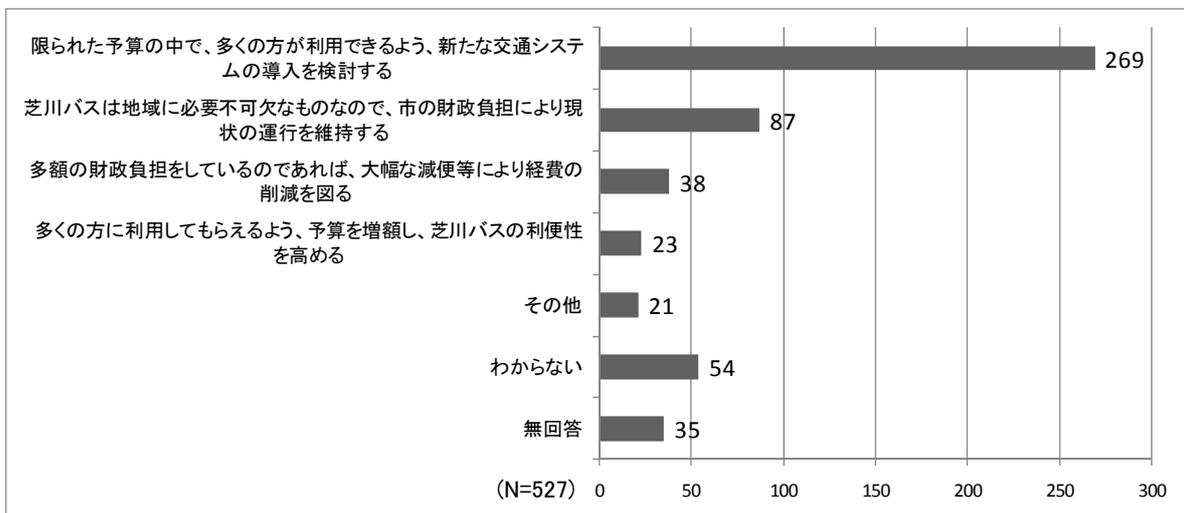
1. 今の公共交通の利用・移動しやすさに対する満足度



全体としては、満足度（「大変満足」と「満足」の合計）が10%未満であるのに対し、不満足度（「不満」と「大変不満」の合計）は約30%と高くなっている。

日常の移動が不便な人（交通弱者）については、実際に公共交通を利用していることから、全体に比べ満足度は高くなっているが、不満足度は同程度の割合となっている。

2. 市が芝川バスの運行を維持するために多額の財政負担をしていることを踏まえ、今後の芝川バスへの対応についての意見

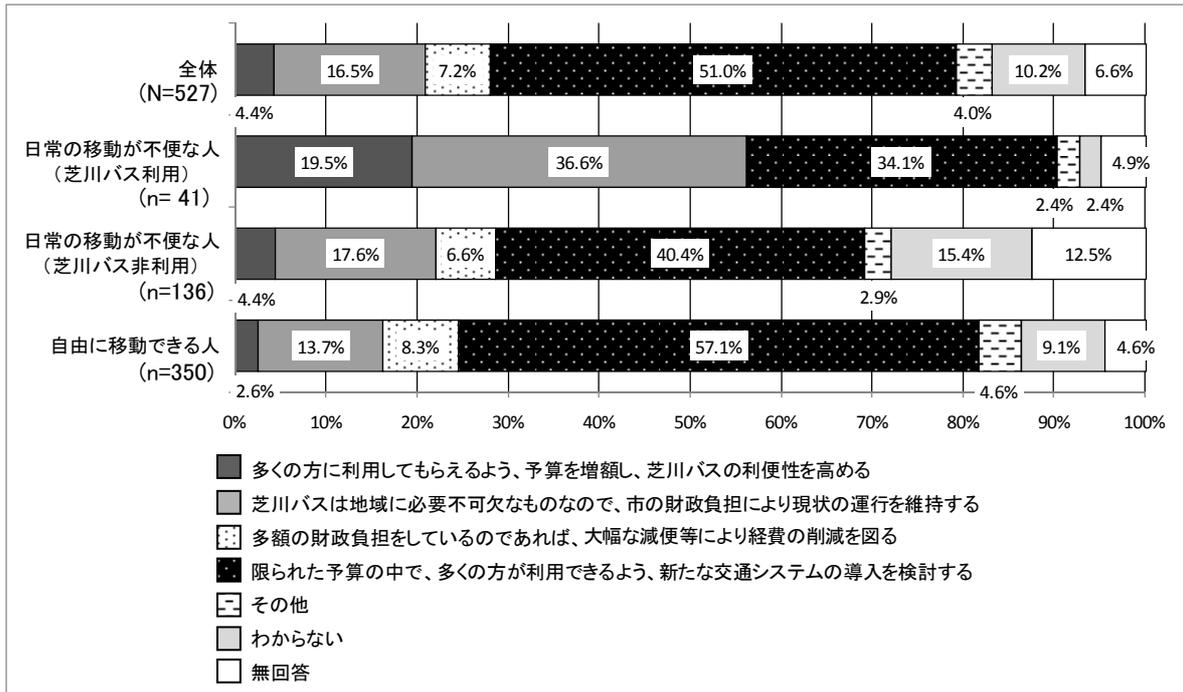


その他の主な意見 ※()内は件数

- ・運行方法の改善案（ルート、便数など）（14）
- ・交通弱者への対応について（8）
- ・芝川バスの運行存続を希望（3）
- ・芝川バスの廃止（3）

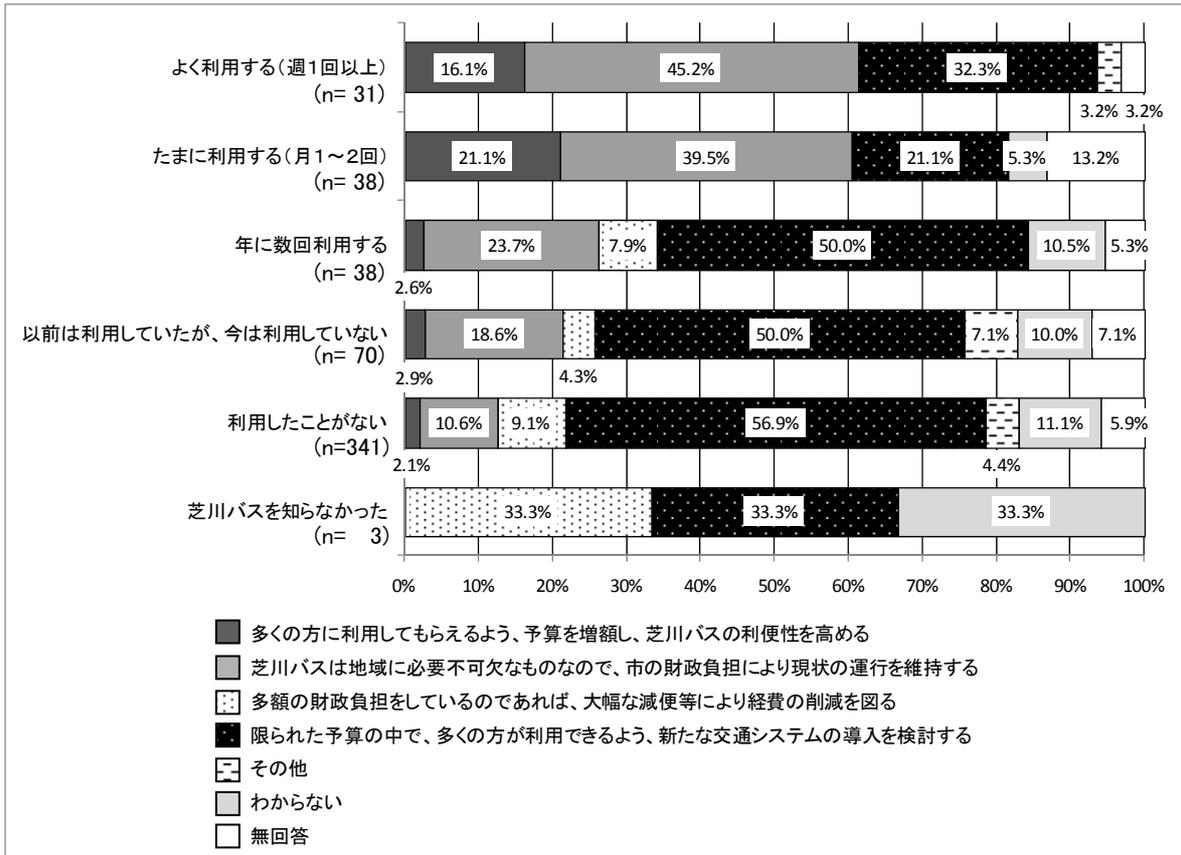
「限られた予算の中で、多くの方が利用できるよう、新たな交通システムの導入を検討する」が最も多く、次いで「芝川バスは地域に必要不可欠なものなので、市の財政負担により現状の運行を維持する」の順となっており、「多額の財政負担をしているのであれば、大幅な減便等により経費の削減を図る」や「多くの方に利用してもらえよう、予算を増額し、芝川バスの利便性を高める」は少なくなっている。

(移動の自由度別の芝川バスへの対応の考え方)



日常の移動の自由度に関わらず、「限られた予算の中で、多くの方が利用できるよう、新たな交通システムの導入を検討する」が多い傾向にあるが、芝川バスの利用者に限っては、「多くの方に利用してもらえるよう、予算を増額し、芝川バスの利便性を高める」や「芝川バスは地域に必要不可欠なものなので、市の財政負担により現状の運行を維持する」の割合が、全体の傾向を大きく上回っている。

(芝川バスの利用状況別の芝川バスへの対応の考え方)

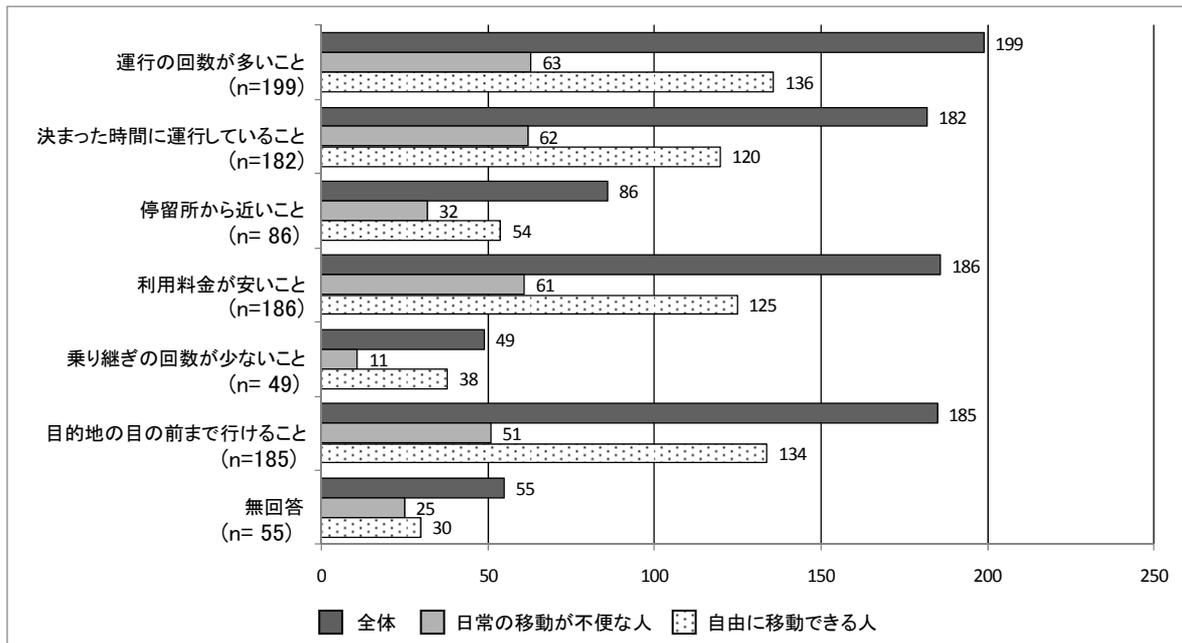


芝川バスを日常的に利用している（「よく利用する（週1回以上）」及び「たまに利用する（月1~2回以上）」）人は「多くの方に利用してもらえよう、予算を増額し、芝川バスの利便性を高める」や「芝川バスは地域に必要不可欠なものなので、市の財政負担により現状の運行を維持する」といった運行の利便性向上や維持を求める回答が多いが、それ以外の人には、「限られた予算の中で、多くの方が利用できるよう、新たな交通システムの導入を検討する」の割合が多くなっている。

また、芝川バスを「よく利用する（週1回以上）」と回答した人でも約30%は「限られた予算の中で、多くの方が利用できるよう、新たな交通システムの導入を検討する」と回答している。

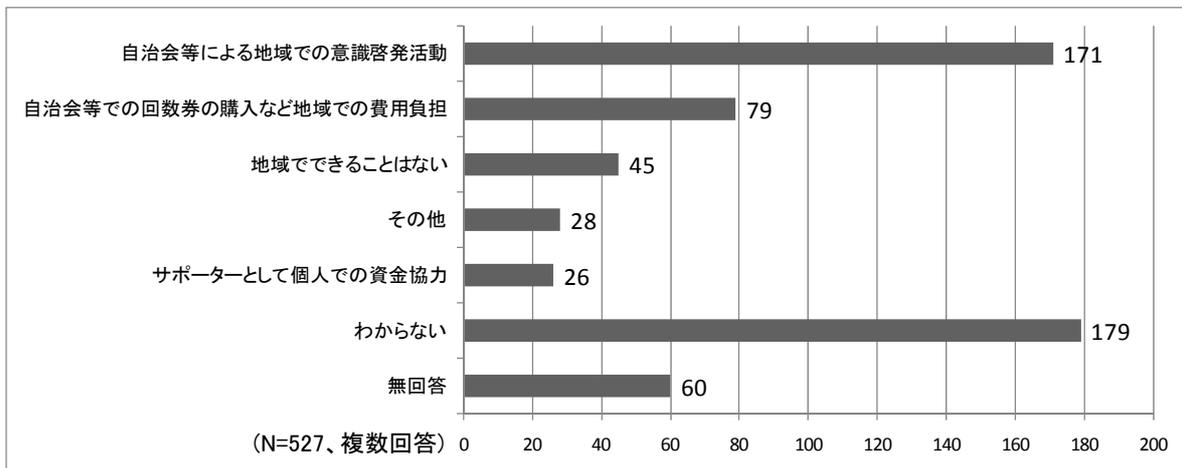
3. 公共交通に求めるサービスについて

(移動の自由度別の公共交通に求めるサービス)



公共交通に求められるサービスとしては、「運行回数が多いこと」、「目的地の目の前まで行けること」、「利用料金が安いこと」、「決まった時間に運行していること」が多くなっている。また、属性別でもほぼ同様の状況にある。

4. 公共交通の持続可能な運行を図るため、地域や個人で出来ること



その他主な意見 ※()内は件数
 ・運行方法の改善・見直し (8)
 ・利用促進のための具体策 (4)

「自治会等による地域での意識啓発活動」が最も多く、次いで「自治会等での回数券の購入など地域での費用負担」となっている。

また、179人が「わからない」と回答していることから、地域での取り組み事例等の紹介等を行う必要があると考えられる。

E 地域公共交通に対する意見（自由記入）

自由記入欄には、高齢者や学生などの交通弱者にとって必要となる公共交通を確保してほしいとの意見が多く、芝川バスの運行継続を希望する声も多く挙げられた。その他、運行ルートに関する要望としては、富士宮市方面への直接乗り入れを希望する意見が多かった。以下に意見の分類を行う。

1	交通弱者(高齢者・学生)にとって必要な公共交通の確保	96 件
2	芝川バス運行の継続希望	46 件
3	運行形態の改善案・改善要望	29 件
4	運行ルートに関する要望	19 件
5	車両の小型化	9 件
6	運行の廃止・必要がない	7 件
7	その他	14 件

地区別の傾向としては、全ての地区において高齢者や通学ための公共交通の確保を望む意見が主であったが、内房地区や稲子地区では、運行継続を望む声も同様に多く挙がっていた。

また、運行ルートに関する要望は、ほとんどが柚野地区からのものであり、芝川駅へ行くよりも富士宮市街へ行けるようにしてほしいという意見が多かった。